

町会ニュース

第32号
平成26年 6月1日
(発行)
箕土路町会



安全・安心きれいな町へ

恒例の防犯パトロールの実施

5月25日(日)午前9時30分より、町内の各団体参加による恒例の防犯パトロールを実施しました。

今年度は、巡回コースを30名余りの参加者が6コースに分かれ、居住する丁地区を中心に担当して実施しました。老朽化した啓発ポスターの張り替えを行ったり、新たに設置したり、防犯パトロールを通して、危険箇所の共有化、安全・安心の町づくりの啓発に意義あるひと時になりました。



のぼりを手に防犯パトロー



危険箇所に啓発ポスターを掲示



パトロールの分担表と七つ道具

5月25日(日)午前9時から、親和会・箕和会による町内美化運動が実施されました。今年度は、町会主催の防犯パトロールも同時並行実施となり、まさに「町内の安全・安心、住み良い町づくり」そのものの行事が、5月後半の少し汗ばむ日差しの中の開催となりました。側溝から上げられた泥、や空き缶・吹きビン。

額に汗して励む「町内美化運動」

様々な大型ゴミ……参加者の協力と連携で驚くほどのゴミが回収されました。



町内から集められたゴミを公園予定地で降ろす



次々とゴミ袋を抱えて集積場に向かう



両手にゴミ袋を抱えて何故か笑顔が続く



側溝からゴミを拾い上げる

街角散歩

「梅雨」の語源

日本気象協会から今年の梅雨入りは、6月8日、梅雨明け7月21日頃と発表されました。



梅雨は、中国から「梅雨」と名づく」とあります。

(ばい)として伝わり、江戸時代頃より「つゆ」と呼ばれるようになった。「日本歳時記」には、「此の月淫雨ふるこれを梅雨(つゆ)と名づく」とあります。

中国では、黴(かび)の生えやすい時期の雨という意味で、元々「黴雨(ばい)」と呼ばれていたが、カビでは語感が悪いいため、

同じ「ばい」で季節に合った「梅」の字を使い「梅雨」になったとする説、「梅の熟す時期の雨」という意味で、元々「梅雨」と呼ばれていたとする説があります。

日本では「つゆ」と呼ばれるようになった由来は、「露(つゆ)」からの説が一般的ですが、梅の実が熟し潰れる時期であることから、



6月・7月の主な行事予定

6月

8日(日) 評議員会

7月

6日(日) 埋立ゴミ回収
13日(日) 評議員会
20日(日) 町内公園清掃

※ 不要乾電池は「箕土路町青少年会館」の回収ボックスまでお持ち帰り下さい。